

留学レポート

国際学部 2年 東 あかり

私はアメリカに行って驚いたことがいくつかありました。1つ目はアメリカの家庭ではみんな靴を履いたまま家の中で生活すると思っていたのですが、私が行った家はみんな靴を脱いであがっていました。ホームステイ先のお父さんはたまに靴を履いたまま家に入っていました。その時はお母さんに「汚れる！」と怒られていました。聞いたところ、最近のアメリカの家ではあまり土足で家にあがるという人を聞かないと言っていました。

2つ目はよく水を飲むという事です。日本人はお茶やコーヒーをよく持ち歩きますが、アメリカの人たちはペットボトルの水をよく持ち歩いています。私の仲良くなったアメリカ人は30分くらい話していただいただけなのにあっという間にペットボトルの水を飲みほして、とても驚きました。家の中にも大きな段ボールに大量の水のペットボトルがストックしてありました。学校内の医師も水をたくさん飲むことをよくすすめていました。

3つ目は家に地下があるということです。なぜか聞いたところ、アメリカにはよくハリケーンが起るため、多くの家に地下室が設けられているそうです。地下室は写真のようになり、テレビやソファ、ベッド、シャワーやトイレもついていて、なんの不自由なく生活できるほどです。窓の外は地面という感じになっていて少し不思議な感じがします。ただ、ハリケーンが起るといって割には1階にガラスの扉がある家が多かったので少し心配だなと感じました。

最後はお店のスタッフがあまり話しかけてこないということです。これは日本に帰ってから気が付いたのですが、日本の店員は服を買いにお店へ入ったとき、サイズはどうか、他の服もどうですかなどと、たくさん話しかけてくる印象があります。しかしアメリカでは、探しているものは見つかった？と聞くだけで、とくにあれこれすすめてくるわけではなく、日本との違いを感じました。逆に飲食店ではよく通りかかったスタッフが「Is everything OK?」などと話しかけてきてくれて、そういった心遣いは嬉しいなと感じました。また、飲食店ではチップを置いたり、クレジットで支払った後にチップ額を決めたりと、日本にはないことなので貴重な経験でした。

日本とアメリカの違いというのは本当にたくさんあってとてもおもしろかったです。

